



NPO法人「ふるさと」が全国表彰



特定非営利活動法人「ふるさと」が全国過疎地域自立促進連盟会長賞を受賞し、10月13・14日に奈良県で開催された全国過疎問題シンポジウムでの受賞式で、黒岩伸雄理事長に表彰状が手渡されました。

「ふるさと」は地域内の施設や人材など、地域財産を活用した冠婚葬祭などのセレモニーのプロデュースや、障害者雇用による高齢者世帯への弁当・食事の宅配サービス、見守りなどを行っています。

今回の受賞は、過疎や高齢化が進む中山間地域の担い手となり、活性化を図ろうとするこれらの活動が評価されたものです。

→ シンポジウム会場で表彰を受ける
黒岩伸雄理事長（右）



→ 特定非営利活動法人「ふるさと」の皆さん



地域間交流促進事業

今年度の都市部と中山間部の交流を図る「地域間交流促進事業」が、第五、更北、長沼、豊野の4地区住民自治協議会との間で行われました。

この事業は、小学生の5、6年生にカヌー体験と化石博物館での「レプリカ」作りを経験させることを目的に実施されたものです。昼食では名物の「ジンギスカン」を、カヌー体験に協力してくれた篠ノ井高校犀峽校のカヌー部の生徒達と和やかに美味しくいただきました。

10月8日（土）には更北地区で開催される「川中島古戦場大花火大会」へのご招待を受け小中学校へご案内しましたが、当日は各種イベントなどが開催されたことから26名の参加となりました。



各部会の活動状況など

安全安心部会

～総合防災訓練が行われました～

9月4日(日)信州新町地区自主防災会連絡協議会が主催する総合防災訓練が行われました。当日は、新町消防署、消防団・信州新町交番にもご協力を頂き、総勢1,489名の参加となりました。

訓練では大雨洪水警報が発令され、犀川が警戒水位に達し、各地で道路の決壊や土砂崩落等の被害が発生したとの想定により、各組が避難所と定めた場所に避難しました。各避難所では、消火訓練や放水訓練、炊き出し訓練などを行い、いざという時のための手順を確認しました。

また、赤十字奉仕団による炊き出し訓練も行われ、万が一の災害に備えた対応も図られました。

当日は、自主防災会長さんにはページング放送をしていただき、各区内での緊急放送に対する対応訓練を行なった他、各自主防災会長さんが想定した災害発生状況を災害対策本部へ連絡することにより、支所の職員が早期に発生場所や災害の状況を特定するための訓練も行われ、若干の戸惑いもありましたが初期の目的が概ね達成できました。

災害はいつ起こるかわかりません。ご家族でも折に触れ、①危険箇所や避難先の確認 ②防災グッズの点検と確認 ③非常時に役立つものについて考えてみるなど話題にされてみてはいかがでしょうか。



環境地域振興部会

～直高商事㈱リサイクルセンター視察～



9月28日(水)に社会部長と部会員を対象に視察研修を実施しました。家庭、スーパーなどから出された資源ごみが分別される過程を見学し、市場工場では、生ごみ、魚のはらわた等全て回収し良質な「内城菌入り堆肥」に変えたり、建設廃材の中から銅を取り出す工程もあり、正に現代の錬金術と言えるのではないのでしょうか。これからの世の中、ゴミという概念が覆される日がそこまで来ている。と肌で感じられた視察でした。

“信州新町に根ざす” 地域おこし協力隊 小寺章洋



地域おこし協力隊として信州新町で活動を始めてから2年と4ヶ月が経ち、残す任期は8ヶ月程となりました。私はこれまで、地区特産のめん羊とワイン葡萄の生産を中心とした農家になるため、住民皆様のご指導をいただきながら、農業研修や地域協力活動を行ってきました。

現在は、大原地区にめん羊畜舎の建設、水内地区でワイン葡萄の収穫等の管理や新植のための準備を行っているところです。

それと同時に、信州新町で暮らし続けていくための基盤づくりを、残りの任期中に進めていきたいと考えています。



葡萄畑にて

八十二<インターネットバンキング>

カンタン! ベンリ!
おトク! 安心!

パソコン・スマートフォン・携帯電話から、
24時間365日残高照会やお振込等ができます。

 **八十二銀行 新町支店**
TEL.026-262-3182


冠婚葬祭
各種イベント
宅配弁当
e t c . . .
ご相談ください

NPO法人
(特定非営利活動法人)

ふるさと

長野市信州新町新町31-2

あなたの愛車の総合コンサルタント
新町自動車センター
262-2164



信州新町 信州不動温泉 **さぎり荘** <http://www.sagirisou.com/>
264-2103

●「越道ウォーキング・収穫祭」の二案内

越道地域資源再発事業実施委員会では、ウォーキングと収穫祭を左記のとおり開催しますので、大勢の皆さんご参加ください。

記

- 1 開催日時 11月13日(日) 午前10時〜午後4時
- 2 集合場所 豊明神社
- 3 行程 豊明神社・小川八幡宮・金鋼寺・小川村郷土歴史館・おやき村・豊明神社

- 4 会費 千円(昼食・お土産付)
- 5 申込み締め切り 11月4日(金)
- 6 申込み先 住自協事務局
TEL262-4792
なお、参加募
集定員は30名です。



●「活き生きトーク」にお出掛け下さい

加藤市長をお迎えし、「活き生き信州新町みんなでトーク」を左記のとおり開催します。

記

- 1 開催日時 11月15日(火) 午後2時から
- 2 場所 水防会館
- 3 第一部 議題提案回答
提案者 「信州新町の文化を守る会」
第二部 ワークショップ
テーマ「信州新町地区の将来像」サブテーマ

- ① 犀川を生かした地域づくり
- ② 荒廃地の有効活用
- ③ 市の施設の有効活用
- 4 参加お申込み方法 サブテーマの中から一つ選んでいただき、11月9日(水)までに住自協事務局TEL262-4792へお申込みください。

なお、トーク終了後、市長と懇親会を行います。懇親会に参加を希望される方はその旨を併せてお申し込みいただけますようお願いいたします。
懇親会費は
三千元です。



●差別をなくす住民集会開催について

「すべての市民が人権感覚を高め、様々な人権問題の解決に向けて主体的に行動できる力を育むことをめざす」として、左記のとおり開催しますので、大勢の皆さんご参加ください。

記

- 1 開催日時 12月3日(土) 午後1時30分から
- 2 場所 長野市信州新町公民館 3階ホール
- 3 内容 ○ 小中高生意見発表
○ 基調講演



～事務局からお知らせ～

10月から地域福祉ワーカーとして、松尾智恵美さんが就任しました。皆さんどうぞよろしくお願ひします。

元気に、さわやかに、信州新町の暮らしを支えます。

JAながの信州新町支所

電話 262-2300(代) FAX 262-3421



人のいのちと心を大切にす医療を実践します

JA長野厚生連 新町病院

休診日/日曜・祝日・第2、第3土曜・盆休・年末年始 TEL262-3111

年間を通じて信州新町の味が楽しめます。

道の駅 信州新町

TEL026-262-2228



11月・12月の予定

11月のイベント				
1日	火		愛郷DAY ふるさと清掃② 文化祭	信州新町中学校 信州新町体育館
3日	木		ビデオ上映会	信州新町博物館
5日	土		信州新町フェア～6日(日)まで	長野市信州新町支所
6日	日		スポーツ健康まつり	長野市信州新町公民館
7日	月	10:00	よってけ家・和太鼓に挑戦	福祉センター
10日	木	10:00	男性料理教室	福祉センター
13日	日	10:00	越道ウォーキング・収穫祭	越道地域資源再発見事業実行委員会
14日	月	9:30	健康・食生活相談	信州新町公民館
15日	火	14:00	生き生き信州新町みんなでトーク	水防会館
17日	木	10:00	子育て食堂	信州新町公民館
19日	土		ワークショップ	信州新町博物館
20日	日	10:00	サンデーリサイクル 笠原杯・剣道大会	市支所駐車場
21日	月	10:00	よってけ家・頭の体操②	福祉センター
22日	火		ふるさと塾(7)	信州新町公民館
25日	金	13:00	乳幼児健診	長野市信州新町支所
26日	土		たのしみ会	信州新町保育園
27日	日	14:00	サクセス&ピアノコンサート	信州新町公民館
28日	月		乳がん検診	
12月のイベント				
1日	木		年末の交通安全運動	～31日まで
2日	金		乳がん検診(マンモグラフィ)	(要予約)
3日	土		差別をなくす住民集会	新町病院
5日	月	10:00	よってけ家・室内ベタンク	長野市信州新町支所
8日	木	10:00	男性料理教室	福祉センター
10日	土		収蔵品展・信州新町周辺の化石たち	～4/2日まで
12日	月	9:30	心配ごと相談・行政相談	信州新町博物館
		10:00	ふるさと塾(8)	福祉センター
13日	火	9:30	献血	信州新町公民館
		13:30		長野市信州新町支所
15日	木	10:00	子育て食堂	厚生連新町病院
17日	土		ワークショップ	信州新町公民館
19日	月	9:30	健康・食生活相談	信州新町博物館
		9:00	よってけ家・フラワーアレンジ	信州新町公民館
			小学校 冬休み	福祉センター
28日	水		中学校 冬休み	～1/9(月)まで
			高校 冬休み	～1/9(月)まで
				～1/5(木)まで
				篠ノ井高等学校犀峽校

信州新町美術館・有島生馬記念館・化石博物館情報紹介コーナー

「彫刻家 三澤憲司は信州新町出身」

三澤憲司氏は1945年に信州新町風越で生まれました。'46年に東京都渋谷区に移りましたが、三澤氏は信州新町を故郷として、美術館に何回か足を運んだり、展覧会も開催しました。'68年に多摩美術大学油絵科を卒業、'69年第1回国際彫刻展(箱根彫刻の森美術館)コンクール賞受賞、その賞金を手に'70年1年間に亘る世界23カ国放浪の旅から帰国、'83年第16回現代美術展で東京都美術館賞受賞など数々の賞を受賞しています。'87年の「第2回犀川国際アートフェスティバル」の折に、美術館の横に建つ「人が支える」を制作し、寄贈いただきました。

この彫刻は人という文字の鉄製の大きな彫刻を、地面に置かれた石に彫られた大勢の人達で支えているというコンセプトで造られたものです。ひいては美術館を大勢の人で支えていきましょうというメッセージも込められています。とかく「人」を表わす大きな鉄の柱のみを見がちですが、石に彫られた人達を見ていただき、一体化した作品として鑑賞いただければ、三澤氏の想いが伝わってくるものと思います。

現在三澤氏は熱海市にアトリエをもち、大きな会社やマンションのモニュメントを沢山制作し、東京、愛知、大阪などを中心に日本中を飛び回って活躍しています。



信州新町美術館長 瀧澤一彦

ジャンボタクシー・各種バスのご用命は
ひじり観光タクシー(株) 262-2353



—広告主募集中—